

# 熊本県中学校総合体育大会ソフトテニス競技大会要項

- ◇ **主催** 熊本県中学校体育連盟 熊本県教育委員会
- ◇ **共催** 熊本市教育委員会
- ◇ **期日** 令和3年7月17日(土) 8:45 競技開始  
18日(日) 8:45 競技開始 ※予備日26日(月)～28日(水)
- ◇ **場所** 熊本県民総合運動公園メインテニスコート16面 (上記全日程)  
荒天時 パークドーム熊本 6面 (17日・18日・26日・27日)

## 1. 競技名 ソフトテニス

## 2. 参加資格

- (1) 県下中学校に在籍している生徒で、各中体連代表と認められた単一校で編成されたチーム及びペアであること。
- (2) 引率は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。教員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とし、県中体連への登録を済ませておくこと。
- (3) 九州中学校体育大会の出場資格を得た場合に、出場できるチームおよびペアであること。
- (4) 参加生徒及びチームの引率者、監督、部活動指導員、教員外指導者等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等(以下、暴力等)により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、教員外指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

## 3. 参加料 参加選手一人につき700円とする。参加申込後の返金はしない。

## 4. 参加制限

### (1) 団体戦

- ①各地区男女各1チームとする。熊本市は男女各2チームの出場を認める。ただし熊本市の参加が25チームを超える場合は3チーム出場を認める。開催地よりさらに1チームの出場を認める。各中体連予選の参加チーム(参加校数ではない)が17チーム以上の場合は1チーム追加出場を認めるが、大会運営可能の場合に限る。本大会参加チームが16チーム未満の場合は、開催地よりさらに1チームの補充を行うことができる。公平性を保つため、特設制限により参加数を男女各16チームにあわせる。以上は参加制限の順位制を表したものとする。

- ②チームは監督1名・コーチ1名・選手8名以内の計10名以内とする。選手は4名以上で出場を認める。

### (2) 個人戦

- ①各郡市代表男女各4ペア(男子8名・女子8名)とする。但し熊本市の男女と天草の女子は各8ペアとする。

- ②1ペアにつき監督1名をおくこと。また1ペアごとにコーチ1名をおくことができる。複数ペア出場の場合には、ペアごとの監督・コーチを兼ねることができる。

※団体戦・個人戦ともに当該校長・副校長・教頭のいずれか1名のベンチ入りを監督・コーチとは別に認めるが、テニスシューズを着用し、ベンチ入りの位置・コーチング・言動等ベンチ入りした場合の行動は監督・コーチに準じ、監督が責任を持つこと。

## 5. 競技方法

- (1) 団体戦：トーナメント方式の3ペアによる点取り法とする。1回戦および緒戦チームのみ3ペア目まで試合を行い、以降より2点先取で勝敗を決めるが、天候等により変更することがある。3位決定戦は行わない。2ペアで参加のチームは1・2番手で試合を行い、3ペア目まで試合を行う場合は3ペア目をオープンとする。可能な場合2面以上の展開を行う。
- (2) 個人戦：トーナメント方式とする。3位同士の九州大会代表順位戦を行う。

- (3) ゲーム数：団体戦・個人戦ともに7ゲームマッチを原則とする。但し、天候、時間等により変更することがある。
- (4) 使用球：公認球(白色)とし、九州大会に準じる。
- (5) 会場等：予備日およびそれに準じる期日までに、大会のすべてを実施完了し、大会終了と九州大会代表権決定を命題とした方策を本部にて決定する。その際には団体戦・個人戦および男女の種別を含め、考え得るすべての方策をとるものとする。荒天等により予備日およびそれに準じる期日までに大会が実施できなかった場合、九州大会代表権は本部の定めた抽選方法で、監督の抽選によって決定する。
- (6) 競技規則
- ①(公財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスハンドブック」並びに本大会要項・申し合わせ事項による。
  - ②選手・監督・コーチのユニフォームについては、下記の通りとする。
    - ・選手は『上はゲームシャツ、下は膝より上のパンツ・スカート』を着用すること。学校単位で同一のユニフォームとすることが望ましい。
    - ・監督・コーチは『上はスポーツウェア』を着用すること。
    - ・選手は別記の通り、B5版・横(白地)の大きさに「背面」にゼッケンをつけること。
    - ・監督・コーチは別記の通り、ハガキ大で『県名・学校名・監督またはコーチ』の入ったゼッケンを胸部につけること。
    - ・選手・監督・コーチとも、ソックスおよびテニスシューズを着用すること。
    - ・選手・応援の生徒は帽子を持参すること。
    - ・選手がやむを得ない理由により医療用具を使用する場合には、別紙医療用具使用届を提出すること。
  - ③レフェリーおよびアンパイヤーは、県中体連依頼レフェリー・アンパイヤーとする。
  - ④その他、申し合わせ事項・主幹中体連が示す競技上の注意・会場使用上の注意等による。

## 6. その他

- (1) 申込みについて
- ①正式申込みについて

各学校 申込書は代表者会当日、職印を押印の上持参すること
  - ②組み合わせ等の作成上、団体・個人戦出場ペアについては各地区専門理事が一括して主幹管中体連専門理事に、7月2日(金)までに別記方法により参加報告書を提出すること。ただし正式申し込みは①の通りとする。
- (2) 1日目に団体戦を、2日目に個人戦を行い、荒天時も含めそれぞれの期日で競技終了させることを原則とする。
- (3) 表彰について
- ①団体戦では優勝チームに優勝旗ならびに学校と全員に賞状を、2～3位には学校に賞状を授与する。
  - ②個人戦ベスト4のペアそれぞれに賞状を授与する。1位のペアに熊本県ソフトテニス連盟中学部より優勝杯(持ち回り)を、授与する。
- (4) 本大会団体戦上位2チーム・個人戦男女別各4ペアは、九州大会への出場資格を得る。
- (5) 監督は、本大会要項および申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意・駐車場やマナー等について、その関係するすべての生徒・応援・保護者も含めた参加者全員に周知徹底すると同時に指導助言を行い、大会を円滑に運営するために最大限の協力を得るための手段をとること。
- (6) 各学校の引率の先生には、役員をしていただくことがあります。
- (7) 熊本県中体連では別紙個人情報保護方針に基づき、熊本県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。
- (8) 各学校の校長・副校長・教頭のいずれか1名はベンチ入りを認めます。ただし、テニスシューズを着用すること。
- (9) 各学校(応援者含む)は、本大会において別紙に定める新型コロナウイルス感染対策(ガイドライン)を熟読の上、感染拡大防止対策を遵守すること。
- (10) 密をさけるため、試合時間に応じて移動を行い、試合終了後は速やかに会場を離れること。

# 熊本県中体連ソフトテニス競技大会要項 申し合わせ事項

1. 組み合わせ、およびシード権と抽選について。
  - (1) 団体戦の組み合わせは専門委員会で協議し、代表者会で抽選を行う。
  - (2) 個人戦の組み合わせの方法は、専門委員会で協議し決定する。組み合わせ抽選会議を各地区予選前に代表者会と別日に設け、各地区専門委員が代表して抽選を行い、代表者会で公開する。
  - (3) 団体戦及び個人戦は、春の熊本県中学生ソフトテニス選手権大会（県中体連共催大会）のそれぞれベスト4の地区をシードする。尚、県選手権大会が行われなかった時は、熊本県中学生新人ソフトテニス大会（同共催大会）で同様にシードする。それも行われなかった場合、シードは専門委員会で協議し、決定する。
2. 監督会議および選手変更について。
  - (1) 団体戦前に「監督会議」を、個人戦前に「個人戦監督会議」を行う。選手の変更は以下の通りとする。監督・コーチの変更は九州中体連大会に準じ、所定の手続きでそれぞれの監督会議までに行うこと。
    - ①個人戦の場合
      - ・ペアのうち1名が事故・病気等で大会へ出場不可能となった場合、九州中体連に準じ、所定の手続きにより原則として「個人戦監督会議」までに県専門部長に届け出て、同一校で1名のメンバー変更ができる。2名とも出場不可能な場合は棄権とする。
    - ②団体戦の場合
      - ・参加申込をした選手が事故・病気等で大会へ出場不可能となった場合、九州中体連に準じ、所定の手続きにより県専門部長に届け出る。原則として「監督会議」までの届け出とする。
  - (2) 生徒指導上の選手変更は一切認めない。個人戦においては1名であってもそのペアを棄権とする。団体戦の場合には当該選手を団体登録8名からはずし、新たな選手の補充は行わない。
3. ベンチ入りについて。
  - (1) 審判台から見て左側のベンチを、番号の小さいチーム・ペアとする。
  - (2) 団体戦・個人戦ともベンチ入りは監督・コーチとする。団体戦ではベンチ入りする監督・コーチは試合開始時の挨拶にたちあうこと。試合が複数同時に行われる場合は、それぞれのベンチにどちらかが入ることを原則とする。マッチの途中でベンチを入れ替わったり一度離れたベンチに再度もどることはできない。選手がコートから離れて監督・コーチのベンチまでアドバイスを聞きに行ってもよいが、この時間も1分30秒以内とする。サイドコーチは禁止する。団体戦において2面展開以上で行う場合の監督・コーチのベンチの位置は中央とすることを原則とし、1面になった場合は元にもどす。
4. 熱中症対策等について。

監督は熱中症対策として水分補給に充分配慮し、本部が認める範囲内において水筒・うちわ・日傘・コールドスプレー・塩分タブレット・クーラー・キーパー等をベンチに準備してよい。チェンジサイズ時のみならず、チェンジサーブ時やファイナルゲームのサイドのチェンジ時も、指定された審判台付近での給水・塩分補給を、遅延行為・サイドコーチの対象とならない範囲において認める。日常の体育授業・部活動で使用している学校独自で作成したキャップの着用を認める。外側・内側とも反射材の入った銀色等の日傘、および白色系の雨傘はプレーに支障をきたす場合があるので、応援者も含めて使用をひかえるが、これ以外の傘はベンチで使用してもよい。マッチ中の選手の状況によって、レフェリーとの協議なしに、ペア以外（監督・コーチ・救護・応援関係者内の医療従事者等）の手当を認める。団体戦において、試合が終わった選手はベンチから離れてダウン等の処置を行ってもよい。ただし試合終了時の挨拶にたちあうこと。
5. 試合進行等について。
  - (1) 団体戦のオーダー票は2部作成し、1部は対戦相手が決まり次第本部に提出し、1部は整列時に相手チームと交換する。オーダーは本部提出を正とし、提出後の変更・訂正は認めない。試合が連続する場合には、原則として20分間、時間をあける。
  - (2) 試合前の乱打は1分間とする。試合前のトスでサイドが決定した時点からストップウォッチで1分間計り、電子ホイッスルを鳴らしてレツプレイをかける。サイドのチェンジの際の監督・コーチのアドバイスは十分な水分補給させた上で生徒をベンチに座らせて行い1分30秒以内とする。副審はストップウォッチを使い1分15秒で電子ホイッスルを鳴らす。続く15秒後に再度鳴らすと同時に正審が「レツプレイ」をかけても動きがなければ警告とする。（ソフトテニスハンドブック競技規則第15条「ポイントの終了から1分以内に次のポイントを開始する体勢に入るものとする」）
  - (3) ポイントごとに選手同士の話や握手等で故意に時間を稼いだりして試合の進行を妨げている場合は警告（イエローカード）となる。（ソフトテニスハンドブック競技規則第15条（2）ア・イ・ウ）
  - (4) 選手・監督・コーチならびに応援も含めて出場する全関係者が、マナーアップに努めること。
6. 選手・監督・コーチの、ユニフォーム・ゼッケン・服装・用具等について。
  - (1) 競技中、シャツの裾を外へ出したり、袖をまくることはしない。ソックスはくるぶしより上、ハイソックスは認めない。選手のユニフォーム・用具には新たにデザイン等を入れないこと。
  - (2) 選手・監督・コーチは別に定めるゼッケンをつける。
  - (3) ストリングに装着する衝撃吸収材・装身具は使用しない。
  - (4) 選手のアンダーシャツ・ロングアンダータイツ、サポーター、テーピングを使用する場合、その色はステッチ等も含めて単色とする。
7. 主幹中体連による「会場使用上の注意」・「練習コート割り当て」等および、熊本県ソフトテニス連盟中学部委員会・中体連ソフトテニス競技専門部から配布している本年度の「熊本県中学生のソフトテニス大会で着用するユニフォーム規定について」・「監督・コーチの『助言』について」・「マナーアップについて」を熟読し、遵守すること。

# 熊本県中体連ソフトテニス競技大会要項 申し合わせ事項 別記

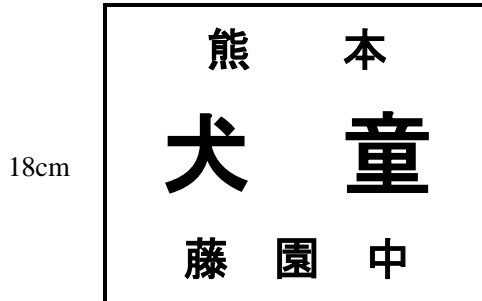
## 「ゼッケンについて」

- (1) 選手はゼッケンを各校で作成し、背中中央につける。ただし、四隅を留めるものとする。
- ①表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」を使用し、独自の『ひらがな』『カタカナ』『ローマ字』などは使用しないこと。文字色は「黒」とする。
  - ②背中のゼッケンは、B5版大横(白地)(縦約18cm×横約26cm)の大きさのものに都道府県名、校名と姓を書く。県名の「県」の文字はつけないものとする。中学校は「中」と表記する。
  - ③背中のゼッケンをシャツそのものへプリントすることは認めない。
  - ④背中のゼッケンで同名の学校がある場合には、区別をするために学校名の工夫をしてもよい。ただし、各地区ごとに望ましい表記をすること。
  - ⑤背中のゼッケンの文字の位置は、下図例1のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、下図例2のように選手が区別できるための「名の1文字」を付け加えること。
  - ⑥中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合、学校名をわかりやすくするために、下図例2のように学校所在地を付記してもよい。
  - ⑦学校名が「〇〇中学校」の場合は〇〇中と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については中をつけずに、適当な表記で表現する。

《例1 選手のゼッケン》

熊本市立藤園中学校 犬童 球溪

26cm



1 / 4 都道府県名 (都府県は不要)

2 / 4 姓

1 / 4 中学校名 (学校名の後に中の文字をつける)

《例2 同姓選手がいる場合・学校所在地を付記する場合》

熊本県 八代市立第一中学校 上村 占魚・上村 占一ペア

26cm



1 / 4 都道府県名 (都府県は不要)

2 / 4 姓  
(選手が区別できるための「名の1文字」)

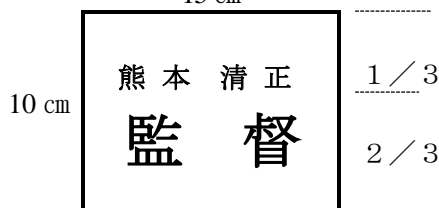
1 / 4 中学校名 (学校名の後に中の文字をつける)

(2) 監督・コーチは以下に定めるゼッケンを左または右胸につける。

- ①大きさは縦10cm、横15cmの布製とする。生地の色や文字色・字体は特に指定しない。
- ②『都道府県名・学校名・【監督】または【コーチ】』と記述し、校名の後に「中」の文字はなくてもよい。他の表記は選手に準ずる。

例3 熊本県清正中の監督

15cm



1 / 3

2 / 3

例4 熊本県熊本市立第九中のコーチ

